

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。
プライス・コード{a ¥ 1 6 9 0/A ¥ 1 8 9 0/B ¥ 2 0 9 0/C ¥ 2 2 5 0/D ¥ 2 4 9 0}
(表示価格は税抜き) 別途消費税が加算されます

www.tambourine-japan.com email: song@tambourine-japan.com

注文方法サイト: <http://www.oct-net.ne.jp/tambouri/order.htm>

[リイシュー/Historic Recording] はP4より

[DVD/GUITAR] PAL 方式

- *SOIG SIBERIL:La Guitare Celtique ¥2780
(PAL 方式 DVD の二枚組。ブルターニュを代表するケルティック・ギタリスト、Soig Siberil のケルティック・ギターの教則 DVD と Soig のギターの魅力をゲストを迎えた共演ライブ等多角的に紹介するライブ&ドキュメンタリー-DVD。Soig のギターの特徴と素晴らしさがつぶさにわかる。Coop Breizh)

[DVD/GUITAR]

※国内製 DVDプレーヤーで再生可能

- *MICHAEL MESSER:Guitar Maestros Series 1 D
(音質画像選曲全てが素晴らしいスライド・ブルース・ギター奏者 M. Messer のギター弾き語りライブ映像。"Main Feature"は Trevor Dann を話し相手に "Can't Be Satisfied" や "Walking Blues" など 8 曲を奏法に焦点を当てて演唱。"Additional Track" は完全ライブで "Rolling & Tumbling" や "The Lone Wolf" など 7 曲をクローズアップで演唱する。約 95 分。2006 作。Sound Technics)
- *STEVE TILSTON:Guitar Maestros Series 1 D
(音質画像選曲全てが素晴らしい S. Tilston のギター弾き語りライブ映像。鮮やかなフラットピッキング・ギターの伴奏による弾き語り "Here Comes The Nights" から SSW の Steve の弾き語りの世界に吸い込まれる。"Main Feature" の 8 曲、"Additional Track" の 8 曲の計 16 曲のパフォーマンスがスームアップで楽しめる。2006 作。Sound Technics)
- *GORDON GILTRAP:Guitar Maestros Series 1 D
(美麗アコースティック・ギターの G. Giltrap。"Main Feature" では 8 曲をインデュを挟みながら、Gordon の音楽の歩みを辿るようにアコースティック・ギターとダブルアコースティック・ギターを神業的名演奏を披露する。"Additional Track" には神業的名演奏が 9 曲 {こんな美しい "Here Comes The Sun" は聴いたことがない!} 収録。加えてエレキギター演奏のワークショップのおまけ付き。ギター・ファン極楽保証。片面 NTSC でもう片面が PAL。2006 作。Sound Technics)
- *THE FOUR MARTINS:Guitar Nights ¥2980
(CD "Martins4" の DVD 版。Martin Carthy, Martin Simpson, Martin Taylor, Juan Martin のそれぞれが個性的ギタリスト達によるコンサート・ライブ。CD と同じ曲目で曲順の全 12 曲に 4 人のインデュ、Martin Taylor のギター・レッスン他。2003 作。P3 Music/ディスクの表が PAL all regions で裏が NTSC all regions)

(ギター・レッスン・ビデオ) NTSC

※国内製プレーヤーで再生可能

- *TONY McMANUS:Celtic Fingerstyle Guitar Vol.2 D
(John Renbournが「Tony McManus is the best Celtic guitarist in the world」と言った今最高のケルティック・ギタリストT. McManusによるギター・レッスン・ビデオ。Vol.1は94分。P40のタブ付楽譜付。Vol.2は68分。P32のタブ付楽譜付。2000作。Stefan Grossman Guitar Workshop)
- *DAVE VAN RONK:Folk, Blues&Ragtime D
(93作。Stefan Grossman Guitar Workshop)
- *STEFAN GROSSMAN:Hot Fingerpicking Guitar Solos D
(93作。Stefan Grossman Guitar Workshop)
- *JOHN REID:Traditional Irish Fiddle Tunes For The Fingerpicking Guitarist(Texas Music and Video) D

[CD/GUITAR, BOUZOUKI 他]

- *MARIA FIBISH & BRUCE VICTOR:A Sweetish Tune A
(シターン、6&12弦ギター、テナー・ギター、マンドリン、マンドリンのアイリッシュなアコースティック・サウンドが木漏れ日のような心地さの中、Mariaの物語性のある唄がこれまた心地よい。オカロランなど好きな曲、それも演奏していて美しく響く曲を選んで演奏し、合間に物語性のあるうたを入れて、楽しんでいるような、何とも心と体に美味しい二人が奏でる小春日和な音楽とMariaの子に聞かせる子守唄のように優しい唄だ。ずっと聴いていたくなる。2017作。Noctambule Music)
- *PETER RATZENBECK:Outremer ¥2790
(お宝。ゲスト:Andy Irvine。1995年作。Shamrock)
- *PETER RATZENBECK:Gitarero ¥2790
(お宝。ゲスト:Hans Theessink。1990作。Shamrock)
- *IAN CARMICHAEL:Ten Years On C
(天才的アイリッシュ・バンジョー。Ian Carmichaelの演奏は職人芸的で、アイリッシュとスコティッシュと米国のオールタイム・ミュージックの伝統的なリズムの特徴を追求・深化させることで、それぞれの音楽に新たな生命力と魅力とを生み出すことに成功している。バンジョーの自由自在に弾ける音色と時折スライドして伸びる音色が新鮮で面白い。2015作。Splitrock Music)
- *SOIG SIBERIL:30 Ans De Scene D
(ブルターニュのケルティック・ギタリストで、Kornog, GwerzのメンバーのSoig Siberilの2枚組編集CD。1993年から2012年までのソロやデュエットやグループの演奏が全29曲。ブルターニュのダンス音楽を独自のケルティックなギター音楽で演奏し、ブルターニュのトラッドの世界に新風を吹き込んだ。Tony McManus, Pierre Bensusanファン必聴。2013作。Coop Breizh)
- *RALF ILLENBERGER:Red Rock Journeys C
(アリゾナの「Red Rock」の山々の風景から生まれたギター音楽。彼のギターは妖精が踊るように？軽やか。ともするとこの手の音楽は過度に悠長になりがちだが、Ralfの演奏は細部に集中するようなリズムミカルな演奏で、曲が緻密で締まっている。ドラマティックな曲の展開はない。むしろ快いリズムの流れがキラキラと流れる印象なのだが、雲の流れや

- 風の流れや風景の変化のようにも聞こえる。2011 作。Stockfish)
- *ULLI BOGERSHAUSEN: Vinyl 81-86 B
 (Ulli Bogershausen なるギター奏者の 81、82、84、86 年の 4 枚のアルバムからの 20 曲入リマスター編集 CD。研ぎ澄まされた感性に裏打ちされた自作曲の一曲一曲はまた詩情豊かでもある。2007 作。Laika)
- *DARREN MALONEY: Complicated A
 (このアイルッシュ・バンジョー奏者の D. Maloney の本作はそのユーモアの感覚に溢れた多様多彩な音楽にワクワクさせられる。アイルッシュをベースにした彼のガブリエイティに富む音楽と人間味ある音楽は、最高に魅力的。彼のバンジョーは良く踊る。w. Shane MacGowan, Joe Brennan, Eileen Gannon, Aiofe Cunningham, etc. 2011 作。Darren Maloney)
- *ROBERT DOYLE: Life In Shadows A
 (ダブリンのフィンガー・スタイルのギター奏者でシンガー、R. Doyle のデビュー作。Pierre Bensusan の門下生という彼のギター弾き語り是一种独特の世界を創作。Bert&John をモデルとする彼独特な、深いところでアイルッシュ・スピリットがみなぎるフォークギター・ミュージックの世界を生み出している。2011 作。Robert Doyle Music)
- *DAVY GRAHAM: From Monkhouse To Medway 1963 - 1973 A
 (1963 年の音源からの 5 曲と 1973 年からの音源からの 21 曲の 16トラック。全曲未発表音源。2010 作。Hux)
- *STEVIE DUNNE: About Time B
 (副題“Traditional Musiv On Tenor Banjo”。ピクニック気分の音楽や上品そうだとぼけた感じの音楽やアコバティックなはや弾きで楽しませ躍らせる、かと思えば、今度はスマートな音楽で気分を爽やかにしてくれる。魔法の音楽。2010 作。Stevie Dunne)
- *GORDON GILTRAP: Airwaves (2000 作。La Cooka Ratcha) C
 *GORDON GILTRAP: Captured From A Point In Time B
 (2006 作。トイ Hypertension)
- *DAVID SURETTE: The Green Mandolin A
 (20 年以上ニューイングランドのケルト音楽シーンで活動するマンドリン&ギター奏者のヨロ。D. Surette のマンドリン&ギターによるアイルッシュを中心にした彼の演奏は職人技的な美しい演奏で魅了する。ふたつの楽器の音色の特性を生かしきった彼のアイルッシュは親しみやすいリズムやメロディの内にも優美さや気品を宿している。全 13トラック。2009 作。Madrina Music)
- *JEFF LANG: Half Seas Over A
 (オーストラリア人ギター奏者で SSW の J. Lang の本作はアメリカのフォークやブルースの根源へと一心を傾けた謙虚な傑作。集中力ある細心のギターの絶妙さにも心奪われるが、Jeff の物語を語るような唄の間と空気感が素晴らしい。2008 作。Furry)
- *ALEC STONE SWEET: Tumblin' Gap a
 (オールド・タイム・ミュージックとアイルッシュのギター演奏。アイルッシュは Planxty や Kevin Burke のレパートリーや“John Ryan's”等だが、アタックの強いクロマナー・スタイルで弾くギターは強弱が明確で古臭い音楽どころか音楽がキラキラ輝いている。全 16トラック。2005 作。Solid Air)
- *LUCIO DAMASCELLI: Il Pieno e Il Vuoto C
 (このイタリア人ギター奏者も素晴らしい。感性がやはりヨーロッパ的。気品が

あって優雅でロマンティック。ヨーロッパ的感性で純度高い華麗なギター音楽の世界を創造している。2006 作。Lucio Damascelli)

*MARTINS 4 A
(Martin Carthy, Martin Simpson, Martin Taylor, Juan Martin のそれぞれが個性的ギタリスト達による個性的ギター・ソングとギター饗宴{競演}集。2005 作。P3 Music)

*DESSIE KELLIHER: Banjoed C
(多彩なリズム飛び交う楽しいバンジョーによるアリッシュ。様々なダンス曲を驚異の力で楽しませる。w. Mike McGoldrick, Peter Browne, Tony Byrne, Gary O'Brien, Pdraig O Se, Colin Farrell, etc. 2004 作。Dessie Kelliher)

[リイシュー/Historic Recording]

(CD/U. S. A.)

*STEVE YOUNG: Honky-Tonk Man C
(LP は Mountain Railroad から発売された Steve Young の 1975 年のアルバムで最高傑作。本作には彼の流れ者フォーク・シンガーとしての持ち味が凝縮されていて、The Band の“The Night They Drove Old Dixie Down”や Hank Williams の Ramblin' Man”など一曲一曲が珠玉。Steve Young の腰の据わったヴォーカルもばっちり美味しい土臭いサウンドもすべてが完璧。1975 年/2017 作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)

*JOEL SCOTT HILL, JOHN BARBATA, CHRIS ETHRIDGE
: L. A. Getaway C
(スワンプに走るきっかけになった懐かしいアルバム。山下達郎がよく来ていた四ツ谷のディスク・チャートというロック喫茶でよくかかっている、本作を聴けば、店内の空気とともに思い出が蘇ります。ブラックホークでも松平さんが好んでかけていましたっけ。日本でスワンプという日本独自のジャンルが作られる前の実験的南部志向ロックは、地下室的空気感があり、渾然として熱い。ゲスト: Leon Russell, Mac Rebennack, Spooner Oldham, John Sebastian, Booter Jones, Sneaky Pete, Clarence White, Clydie King 他。1971 年/2017 作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)

*TRACY NELSON: Poor Mans Paradise A
(1973 年の Tracy Nelson & Mother Earth のスワンプの名盤。Eric Justin Kaz 作“Cruel Wind”ほか全 9 曲。w. Mac Gayden, Jerry Carrigan, Randy Scruggs, Anita Ball {ハッキング・ヴォーカル}, Sadie Cantrell {ハッキング・ヴォーカル} 他。1973 年/2017 作。Floating World)

*CARP: Carp C
(ご存じ「ブラックホークの 99 選」にも選出された Gary Busey, Ron Getman, John Crowder, Glen Mitchell の四人組“Carp”の唯一の愛すべきアルバム。共同プロデューサーの Daniel Moore の音楽志向がばっちり繁栄された LA スワンプ～カントリー・ロック。1966 年にオクラホマ州大学時代に結成された彼らだが、今改めて聴いても、ドラムス、ベース、エレキギター、ピアノの演奏はしっかりメリハリがあって土臭く、確かなロックを体現し、ヴォーカル&ハ

ーモニーは西海岸ロック志向の若者らしいヒューマンな味わいを高めている。奇跡&輝石の名盤。ゲスト:Sneaky Pete。1970年/2017作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)

*ALLMAN BROTHERS BAND AND THE GREGG ALLMAN BAND

:Unplugged

B

(1987年のAllman Brothers Band名義だが、Greg AllmanのヴォーカルをフィーチャーしたGregのソロ・ライブ4曲と1980年のGregg Allman Bandによるライブ9曲の13曲収録ライブ盤。何と言っても"Midnight Rider"や"Melissa"などの前半のソロの4曲は、シンガーとしてのGreggの持ち味がよくにじみ出ていて、感動的。そして、今度は打って変わって、フル・バンドによる後半の9曲は、Greggのヴォーカルもバンドのロックもアブラののった南部ロックを体現していて、圧巻。Gregg Allmanのシンガーとしての味わいに舌鼓を打ち、Allman Brathers Band直系の堂々たる南部ロックに体が熱くなる贅沢なライブ。1980年/2017作。Predator)

*FROMMOX:Here To There

¥2790

(伝説のDan McCrimmonとSteve Fromholzの二人組"Frommox"の1969年作。Smartweed)

*RICK ROBERTS:Windmills/She Is A Song

¥2790

("Windmills"と"She Is A Song"の2in1。1972/1973/2004作。Gott Discs)

*EDDIE MOTTAU:No Turning Around

C

(Eddie Mottauの1973年の奇跡のデビュー作。PPMのPaul Stookeyがプロデュースを手がけて誕生した本作は、唄が渾身な上に、当時も今もほとんど無名のミュージシャン達のバックアップによる演奏は、一途にダウン・トゥー・アースで、当時の最良のロス産スワンプ風なスワンプっぽいアメリカン・ロックを体現していて、南部系SSWアルバムとして、充実しきっている。いくらほめちぎっても、ほめちぎり足りない。1973年/2017作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)

*NEIL YOUNG:Bottom Line 1974

B

(Neil Youngの1974年の名作"On The Beach"リリース後最初に行ったコンサートのライブ盤。"On the Beach"収録の8曲中5曲を含む本ライブ盤は、全曲ギターの弾き語り効果もあって、"On The Beach"のムードを保ったアルバムになっている。Neil Youngの"Greesleaves"が聴けるのは、本作だけかも。全13曲。1974/2017作。Gold Fish)

*KRIS KRISTOFFERSON:The Austin Sessions

A

(1999年にAtlanticからリリースされた"The Austin Sessions" [収録が始まったのは1997年]が二曲の未発表曲を加え、新たな装丁と解説付で発売された。Jackson Browne, Steve Earle, Matraca Berg, Vince Gill, Alison Krauss, Catie Curtis, Mark Knopflerなどのゲスト・シンガーとの共演でも話題だが、Steve Bruton, Larry Paxton, Mike Baird, John Willis, Jim Coxなどの精鋭で固めた土臭いルーツロックは、気合い充実のKrisのヴォーカルと絡み合っていて圧巻。全14曲。1999/2017作。Rhino)

*DERROLL ADAMS:Feelin' Fine

B

(英国の Village Thing から 1972 年にリリースされた“Feelin’ Fine”がベルギーの Best Seller から 1976 年にリリースされた “Along The Way”から 6 曲のボーナス曲付で、めでたく CD 再発された。“Feelin’ Fine”の共演者は Wizz Jones, Danny Adams, Roland Van Campenhout で、“Along The Way”は Maggie Holland, Tucker Zimmerman, Youra Marcus, Danny Adams。バンジョーを爪弾きながらうたう低く柔らかな唄の数々は、小気味よく弾むバンジョーを伴って、心にふんわりと残る。全 18 曲。2017 作。Ghost From The Basement)

*DOUG SAHM & HIS BAND:1973 Live Paul’s Mall, Boston MA A
(Bob Dylan, Dr. John, Flaco Jimenez, David Bromberg, Kenny Kosek 等がゲスト参加して制作された“Doug Sahn & Band”{1973 作}リリースの二ヶ月後に行った FM ラジオ放送用ライヴ音源の CD 化。Sir Douglas Quintet の活動を通じて完成させた Sir Douglas 流テックスメックス・ロック以前のカントリー、ブルース、テキサス・スウィングをまぜこぜにしてロックした Doug Sahn らしさプンプンの泥臭いロック。若き Doug Sahn、すべてが輝いている。1973 年/2016 作。Rox Vox)

*THOMAS JEFFERSON KAYE:Thomas Jefferson Kaye C
(Bob Neuwirth や Gene Clark のプロデューサーでもあった SSW の Thomas Jefferson Kaye のファースト・ソロ。元々スワンプ志向の音楽性を持つ Thomas がカリフォルニアに移って制作した西海岸産スワンプ風ロック。Donald Fagen や Walter Becker や Rick Derringer に加えて、女性スワンプ・シンガー隊の Clydie King, Venetta Fields 他のもでも起用したロックは、「スワンプ志向」で結集していて、完璧。1973 年/2016 作。紙ヅャク。韓国 Big Pink)

*ORPHAN:Everyone Lives To Sing C
(ちよくちよく Jonathan Edwards と共演していた Orphan {Eric Lilljequist {ヴォーカル、ギター} と Dean Adrien {ヴォーカル、ハーモニカ} のデュオのバンド} の 1972 年の一枚目。一曲目の“Easy Now”は Aztec Two Step、或いは Batdorf & Rodney の清々しいデュエットを想起させもするが、人なつこそうな優しさは当時の Jonathan Edwards の唄にも通じるヒューマンな味わい。ゲスト:Jonathan Edwards。1972 年/2016 作。紙ヅャク。韓国 Big Pink)

*GRAHAM NASH:Songs For Beginners A
(便宜上 USA にて。名盤。1971 年。Atlantic)

*RICHARD SUPA:Supa’s Jumboree C
(スワンプの名盤。1971 年/2016 作。紙ヅャク。韓国 Big Pink)

*JOHN PRINE:Bottom Line ¥2690
(二枚組ライヴ。1978 年、ニューヨークのボトムラインでのライヴ。FM ラジオの音源から全 30 曲。“Pink Cadillac”収録のメンバー {John Burns, Howard Levy, Tom Pickarske, Angelo Varias} がバックアップ。1978/2015 作。All Access)

*LEE CLAYTON:Live At Rockpalast D
(CD+DVDセット。Lee Clayton Band~Lee Clayton {ヴォーカル、ギター、ハーモニカ}, Philip Donnelly {ギター}, Colin Cameron {ベース}, Tony Newman

{ドラム}~の1980年、ドイツのテレビ番組のショー向けスタジオでのライブ。CDはDVDのオーディオ版。全15曲。1980/2014作。

Repertoire)

- *JERRY CORBITT:Corbitt C
(YoungbloodsのJerry Corbittの1969年の一枚目。本作を聴くとYoungbloodsのメンバーの中で、最もアメリカン・ルーツ志向のアーティストだったことがわかる。時はサイケデリック・ロック華やかかなりし時代、Jerryは時代の潮流に流されず、既に、後のSSWのようにブルースやカントリーに立脚した音楽を、やや荒っぽくはあるが、堂々と体現している。YoungbloodsはJesse Colin YoungとJerry Corbittの二人組でスタートしたバンドだが、音楽創りはJerryの手腕によっていたであろうことが、このJerryの大風呂敷なアメリカン・ルーツロックなアルバムから推測できる。音楽はJesseとは対比的に泥臭く、パワフルだ。Produced by Charlie Daniels。1969年/2015作。紙ジャケ。韓国Big Pink)
- *JESSE WINCHESTER:Seems Like Only Yesterday B
(副題“Live In Montreal 1976”。FMラジオ収録のJesse Winchester {1944-2014}の1976年のコンサート・ライブ。全18トラック。J. Winchesterの最も充実していた時代のふくよかなライブ。1976/2015作。Real Gone Music)
- *ROHRBACKER, HENDREN & KINGEN C
:Rohbacker, Hendren & Kingen
(1974年に自主制作で500枚発売されたというレゴンの三人組フォーク・ロック・バンド。これは面白い。Byrdsのカントリーな部分を排除したややサイケデリックな時代感覚を持ったフォーク・ロックで、トリオ編成ながら、エレキギター、ドラムス、ベースの組み合わせによるは、軽快にロックしていて快感だし、ソフトで柔らかな個性で、SSWとしても魅力のあるRoy Rohrbackerのヴォーカルと、そしてトリオによるソフトなハーモニーは、中々魅力的。あの時代に米国の北西の端っこで、時代の波を受けて、しこしこ俺たち流の優しいロックを創っていたヒューマンなロック・バンドがいたんだね。Floating House Bandを思い出した。1974年/2014作。紙ジャケ。韓国Big Pink)
- *BILL STAINES:Somebody Blue C
(1967年、Bill Stainesが二十歳の時にリリースした二枚目。全曲ギターの弾き語り {セカンド・ギター:Ken Girard}の本作は、この次のアルバムが1975年作の“Miles”と言われても、何も疑わない聴き親しんだBill Stainesの風薫るような唄そのまま。唄は素直で素朴で、曲調は風や水の流れのよう。その昔、“Miles”を聴いた時の感動が蘇った。それにしても昔の二十歳は老けていた…。1967年/2009作。紙ジャケ。韓国Big Pink)
- *J. J. CALE:Really (1972作。カナダ Mercury) a
- *J. J. CALE:Grasshopper (1982作。カナダ Mercury) a
- *RY COODER:Chicken Skin Music (1976作。カナダ Warner) a
- *BILL STAINES:The First Million Miles Vol 2 A
(19曲収録編集CD。1998作。Rounder)
- *ELVIN BISHOP:Let It Flow (1974作。PolyGram/Capricorn) B

- *PETE SEEGER:Rainbow Race B
 (本作は誰もが知るアメリカン・フォーク・シンガーの Pete Seeger の 1973 年のアルバム。反戦歌を含む本作は社会派のフォーク・シンガーとして、柔軟で力のある唄を聞かせていて、素晴らしい。唄は真っ直ぐに人の心へと向かっている。そんな中、ラスト曲“Hobo’s Lullaby”はことのほか心に沁みる。伴奏はギターとバンジョーとベース。唄に人を動かす力があつた時代の音楽。1973/2014 作。Talking Elephan)
- *THE BAND:Live At The Academy Of Music 1971 ¥7800
 (副題“The Rock Of Ages Concerts”。4 枚組 CD+DVD のセット。ディスク 1 とディスク 2 が“Live At The Academy Of Music 1971”の音源からの計 29 曲{その内、Bob Dylan との共演が 4 曲}、ディスク 3 とディスク 4 が“New Year’s Eve At The Academy Of Music 1971”の音源からの計 27 曲{その内、Bob Dylan との共演が 4 曲}。DVD はその中からライブ映像 25 曲+“Archival Film Clips - December 30, 1971”から 2 曲。19 曲が未発表音源。解説:Robbie Robertson。縦横各約 25センチ、厚み 1.5センチのハードカバーブック型ケース。一家に一セット。2013 作。Capitol)
- *JOHN SEBASTIAN:Tar Beach D
 (John B. Sebastian の 1992 年のアルバム。Shanachie)
- *GREG DOUGLASS:Maelstrom B
 (開封。w. Norton Buffalo, Steve Douglass, Nick Gravenites, Doug Harman, Peter Rowan。ブックレットにパンチ穴有り。1993 作。Taxim)
- *ERIK DARLING:Child, Child B
 (開封。ハードカバーにパンチ穴有り。2000 作。Wind River)
- *BOB DYLAN:Folk Singer - Humdinger
 “Just About As Good As It Gets!” C
 (2 枚組 CD。1961~1962 年録音の全 44 曲。数えてみたら、ラジオや教会等でのライブ曲が 32 曲収録。Dylan のデビュー時の唄がスタジオ録音とライブで楽しめる。2012 作。Smith&Co)
- *THE BURRITO BROTHERS
 :Back To The Sweetheart Of The Rodeo D
 (2 枚組。1990 作。Appaloosa)
- *RANDY BURNS AND THE SKY DOG BAND
 :Still On Our Feet a
 (72 年作の再発盤で Randy Burns がライブ会場で手売りで売っているサイン入りスリム・ケースの CD-R。バンド編成の本作は春を迎えた鳥達のように潑刺として爽快。最高一枚。全 12 曲。Wildcat)
- *RANDY BURNS:Live At Jocko’s a
 (1976 年のヴァレンタインデーに行われたギター弾き語りライブ。全 16 曲。自作の 3 曲に加え、Eric Anderson 作 2 曲“The Girl I Love”と“More Often Than Not”や David Blue 作や Tom Ghent 作や Tom Paxton 作等の時代の唄、加えてトラッドの名曲 2 曲“Wild Mountain Thyme”と“Oh Shenandoah”等、R. Burns ならではの世界が創出されている。SSWファン宝物。R. Burns のサイン入り。音質は通常 CD と同レベル。スリム・ケースの CD-R。2011 作。WildCat)
- *RANDY BURNS:The Exit & Gaslight Years 1965-1969 a
 (二枚目“Evening Of The Magician”{68 作}から 7 曲、三枚目“Song

- For An Uncertain Lady” [70 作] から 5 曲と未発表音源から 1 曲の計 13 曲収録編集盤。ひっそりと自分の世界に酔ううつろな R. Burns の唄の世界。心はあの時代。CD-R。自主制作)
- *RANDY BURNS:Evening Of The Magician a
(1968 年作で、ボクの心の中では、Eric Andersen の“Blue River”とイメージが重なる SSW アルバムの静かなる名盤。未発表曲 1 曲を含む 11 曲。68 作。CD-R。ESP)
- *THE BEST OF RANDY BURNS & THE SKYDOG BAND a
(70 年代初めの“Skydog Band”をバックにしたフォーク・ロック時代の R. Burns の 17 曲収録のベスト盤。傷つきそうなくらい感受性豊かで内省的な唄の世界。CD-R。自主制作)
- *TOWNES VAN ZANDT:Live At McCabe's A
(1995 年 McCabe's のライブ。1996 作。Varese Sarabande)
- *CASEY KELLY:Casey Kelly a
(C. Kelly の 1 枚目。バックは Leland Sklar, Russell Kunkell, Craig Doerge。そして Sneaky Pete, Jim Messina, Al Garth 等がゲスト。プロデュースは当時 Poco のプロデューサーだった Richard Sanford Orshoff。CD-R。It'sAboutMusic.com)
- *INTERNATIONAL SUBMARINE BAND AND JON CORNEAL
:Back At Home & Jon Corneal And The Orange Blossom Special a
(2000 年作の再結成 ISB の“Back At Home” [ボーナス曲 2 曲を含む 12 曲] と ISB の Jon Corneal と彼のバンドの 1974 年のアルバムの“2 in 1”。2011 作。ドイツ SPV)
- *JANIS JOPLIN:X2 A
(“Cheap Thrills”, “Pearl” の 2 枚のアルバムの 2 枚組セット。2000 作。Columbia)
- *STEVE GILLETT:Steve Gillett ¥2500
(ケース破損につきケース交換。1967 作。Vanguard)
- *FRANK CHRISTIAN:From My Hand(1995 作。Palmetto) ¥2980
- *VINCE BELL:Phoenix(1994 作。Watermelon) ¥2980
- *BOB DYLAN:The Bootleg Series Vol.6 “Live 1964” ¥2980
(1964 年ニューヨークの Philharmonic Hall での 2 枚組ライブ。全 19 曲。内 4 曲は Joan Baez とのデュエット。問題作“Bringing It All Back Home”発表のちよい前のギター弾き語りライブ。2004 作。Columbia)
- *BOB DYLAN:The Freewheelin' (63 作。Columbia) ¥1280
- *SWAMPWATER:Reunion A
(1979 年、再結成時収録された音源からの全 14 曲。メンバーは Gib Guilbeau, John Beland, Thad Maxwell, Micky McGee。カントリー・ロックの旨みたっぷり。カントリー・ロック・ファン至福保証。本作は Larry Murray に捧げられている。イタリア Akarma)
- *DELANEY&BONNIE & FRIENDS:On Tour(1970 年作。Atco) a
- *JIM GROCE:Bad, Bad Leroy Brown & Other Favorites a
(タイトル曲他全 10 曲。カタ EMI)
- *THE YOUNGBLOODS:Euphoria 1965-1969(全 25 曲。99 作。Raven) a
- *GENE CLARK:American Dreamer 1964-1974(92 作。Raven) a

- *LINDA RONSTADT:Don't Cry Now ¥1250
(1973 年作。Produced by Peter Asher。w. Glenn Frey, Buddy Emmons, Herb Pederson, Sneaky Pete Kleinow, Jimmie Fadden 他。73/2010 作。Rhino)
- *ARLO GUTHRIE:Alice's Restaurant (Rising Son) A
- *JESSE WINCHESTER:Jesse Winchester (70 作。Stony Plain) B
- *WARREN ZEVON:Preludes B
(Disc 1 が未発表音源から 16 曲収録、Disc 2 が 99 年の Austin City Limitsスタジオでのライブ 3 曲とインビュ-5 つを収録の 2 枚組。2007 作。New West)
- *TOM RUSH:Take A Little Walk With Me A
(66 作。Collectors' Choice)
- *TIM HARDIN:2 B
(67 年作がオリジナル・アート・ワークの紙ジャケット{デジパック}にて CD 再発。誰もが認める Tim のベスト。"If I Were a Carpenter", "Red Balloon", "Lady Came From Baltimore", "Tribute To Hank Williams" 他。67/2006 作。Lilith)
- *JAMES TAYLOR:Best Live a
(“Sweet Baby James”で幕開けし、“That Lonesome Road”のアカペラで幕を閉じる 17 曲入ライブ。アコースティックなのからポップなのまで全て彼らしいライブ。93 作。Columbia)
- *TERRY MELCHER:Terry Melcher (74 作。Collector's Choice) A
- *CHRIS HILLMAN:Slippin' Away (Wounded Bird) A
- *FIREFALL:Break Of Dawn/Mirror Of The World A
(最高のカントリー・ロック・バンドの“Break Of Dawn”と“Mirror Of The World”の“2 on 1”。82/83/2004 作。Wounded Bird)
- *THE ELVIN BISHOP GROUP
:Party Till The Cows Come Home B
(デビュー作{69 作}、“Feel It”{70 作}、“Rock My Soul”{72 作}の 3 枚にライブ音源 2 曲を含むボーナス曲 3 曲付計 30 曲入 2 枚組 CD。69/70/72/2004 作。イギリスAcadia)
- *JEFFERSON AIRPLANE:After Bathing At Baxter's a
(元 Jefferson 7 人組の私メが欲しくて仕入れ。全て 67 年録音未発表のボーナス曲 4 曲付で CD 化。67/2003 作。BMG)
- *LEON REDBONE:Red To Blue (87 作。August/Rounder) ¥1280
- *LEON REDBONE:Whistling In The Wind ¥1280
(88 作。August/Rounder)
- *LEON REDBONE:No Regrets (88 作。August/Rounder) ¥1280
- *EMMYLOU HARRIS:Luxury Liner ¥1280
(未発表音源 2 曲ボーナス曲入。名盤。76/2004 作。Warner)
- *EMMYLOU HARRIS:Quarter Moon In A Ten Cent Town ¥1280
(未発表音源 2 曲ボーナス曲入。名盤。78/2004 作。Warner)
- *EMMYLOU HARRIS:Blue Kentucky Girl ¥1280
(未発表音源 2 曲ボーナス曲入。名盤。79/2004 作。Warner)
- *DAVE MASON&CASS ELLIOTT ¥1980
(71 作。ビクター・エンターテインメント)

- *THE BAND:Stage Fright(リマスター。4曲ボーナス曲付。EU EMI) ¥1280
- *THE BAND:Islands(リマスター。2曲ボーナス曲付。EU EMI) ¥1280
- *SIR DOUGLAS QUINTET:Is Back A
- *JACK ELLIOTT:Ramblin' Jack(24曲入編集CD。95作。Topic) A
- *JOHN PRINE:German Afternoons(Oh Boy) a

(CD/U. S. A. [国内盤])

- *DON NIX:In God We Trust(Vivid) ¥2800
- *JIM PULTE:Out The Window+Shimmy She Roll, Shimmy
She Shake(一枚目と二枚目の2in1。Vivid) ¥2800
- *FRED NEIL:Bleecker & Macdougall(Warner) A

(CD/CANADA)

- *WILLIE P. BENNETT:Tryin' To Start Out Clean ¥2600
(1975作。紙ジャケット。エア・メール・レコーディングス)
- *WILLIE P. BENNETT:Blackie And The Rodeo King D
(1978作。Bnature Music)
- *JOEY GREGORASH:Tell The People C
(1973年発売の二枚目も一枚目同様メフィスのスタックス。Joeyは黒人シンガーのようにうたいたかったのだろう。本作ではソウルフルに熱唱するタイプの唄が目立っていて、唄に熱気が出ている。ただし、彼の唄からは黒っぽさはさほど感じられない。彼のシンガーとしての資質の問題だろう。心は「黒人シンガー」でも生まれた唄は、やや熱唱型のヴォーカル中心の王道的ロック。本作でNeil Youngの“Down By The River”を再演している。当時の空気が充満していて、音全体が熱く、そして懐かしい。1973年/2014作。紙ジャケット。韓国Big Pink)
- *JOEY GREGORASH:North Country Funk C
(オリジナルLPは1971年にポリトールから発売されたというかつてのSSWのJ. Gregorashの一枚目。録音はメフィスのスタックス。スタックスだが、スワップの印象は薄い。むしろブルース・ロック〜フォーク・ロックの印象が強い。それでもやはりスタックス印のロックは、骨太で底力がある。JoeyのChristopher Kearneyくらいがしっと骨太なヴォーカルは、当時としては米国南部音楽の最前線のパワーのあるロックを得て、最高にノリノリ。二曲目で同郷のNeil Youngの“Down By The River”をやっている。1971年/2014作。紙ジャケット。韓国Big Pink)
- *LEONARD COHEN:X2 A
(“Songs Of Leonard Cohen”, “Songs Of Love And Hate”の2枚のアルバム)の2枚組セット。2003作。Columbia)
- *RICK DANKO:Live at Uncle Willy's a
(1989年、ニューヨークのUncle Willy's Kingstonでのギター弾き語りライブ。全12曲。2011作。Floating World)
- *RICK DANKO:Live At The Tin Angel a
(2枚組。全27曲。1999年1月15日、フィラデルフィアのTin AngelでのR. Danko [この年の12月10日他界]のライブ。享年56歳。2011作。Retro World)
- *RICK DANKO
:At Dylan's Cafe Washington DC December 8, 1987 a

(2枚組。Rick Dankoの何とギターの弾き語りの全43曲。深夜、しみじみと聴くのがいい。2009作。Voiceprint)

- *RAY MATERICK:Life And Times ¥1500
(Ray Materickの70年代の音源からの2枚組編集CD。全24曲収録。SSWファンの宝物。2003作。Linus)
- *JONI MITCHELL:Ladies Of The Canyon a
(リマスター。“Woodstock”, “The Circle Game”を含む12曲。70作。Warner)
- *BRUCE COCKBURN:Sunwheel Dance A
(リマスター。2曲ボーナス・トラック付。71作。True North)
- *BRUCE COCKBURN:Circles In The Stream A
(リマスター。“2 on 1”。全17曲。77作。True North)
- *BRUCE COCKBURN:Stealing Fire A
(“Deluxe Edition”。リマスター。2曲ボーナス・トラック付。True North)
- *BRUCE COCKBURN:Live(リマスター。True North) A
- *KATE&ANNA McGARRIGLE:Love Over And Over ¥2090
(w. Jane McGarrigle, Gerry Conway, Pat Donaldson, Alun Davies, Mark Knopfler, Paul Samwell-Smith, etc. 82作。PolyGram)
- *KATE&ANNA McGARRIGLE:Matapedia(96作。Hannibal) A
- *GORDON LIGHTFOOT:Sunday Concert Live ¥950
(69年のトロントでのライブ。全11曲。EMI)

(LP/BRITISH FOLK)

- *NICK DRAKE:Five Leaves Left(69作。Island) D
- *NICK DRAKE:Pink Moon(72作。Island) D

(CD/BRITAIN&IRELAND他)

- *WIZZ JONES:Wizz Jones C
(これがWizz Jonesのソロ一枚目か。おそらく聴くのは初めて。面白い！というのは、本作が発売された1969年という時代に、もう既にギター・スタイルもヴォーカル・スタイルも完成していることと、それでもなお、彼が傾倒した米国ルーツ音楽の華やぎがちらほら音楽に顔を出していること。例えば、ジャグバンドのような米国音楽の匂いは彼のその後のアルバムからは、ずっと消えてしまう。そういう意味では、貴重というか、Wizz Jonesの若さが見られて、面白く感じた。しかし、Wizz Jonesが米国音楽を演唱しても、Wizz流なのが素晴らしい。ライナー・ノーツはLong John Baldryが書いていたんだ。Long JohnはWizzのバスキングの友だったそうだ。w. Clive Palmer, Dave Deighton。1969年/2017作。紙ジャケ。韓国Big Pink)
- *NIGEL OLSSON:Nigel Olson's Drum Orchestra And Chorus C
(懐かしいアルバムとCDで再会！昔ブラックホークで、たまに「スワンプ」扱いで流していたっけ。Elton John Bandのドラマーとして知られた英国のミュージシャンだが、本作は南部志向西海岸ロック〜スワンプ風のSSWとして、大いに好まれた名品。明らかに米国ロックを志向はしているが、英国フォーク的感性も輝かせていて、徹底して泥臭くはないところで、個性を発揮している。Mick

Grabham, B. J. Cole, Dee Murray, Caleb Quay 等が叩き出す時代の
ロックとしか言いようのないロックの何と体に美味しいこと！
ゲスト。シンガーの Kathi McDonald のジャニス・ジョプリン風な
ヴォーカルも熱い。1971 年/2017 作。紙ヅャケ。韓国 Big Pink)

*GERRY LOCKRAN: Hold On - I'm Coming! C
(1967 年作の Gerry Lockran の一枚目。1942 生まれだから、25 歳の時
の作品か。この歳ならもう音楽嗜好&志向もしっかりしていて当
然で、彼のブルースを中心にした米国南部音楽志向音楽は、ロッ
ク創生期のフォーク、ロック、ジャズなどの音楽性がごった煮的
で、Gerry のアクの強い唄と相まって、時代の音楽を超えた圧倒感
のが感じられる。興味深いのはバックを務める Danny Thompson や
Terry Cox など四名が叩き出すロックにジャズの要素が見え隠れ
していて、Pentangle につながる音楽性も持っていること。Gerry
Lockran はデビュー作時代から大物の器だった。1967 年/2017 作。
紙ヅャケ。韓国 Big Pink)

*GERRY LOCKRAN: Rags To Gladrags C
(不滅の名盤。1976 年/2016 作。紙ヅャケ。韓国 Big Pink)

*IAIN MATTHEWS: Live At Rockpalast ¥2690
(1983 年のドイツでのライブ DVD {国内製 DVD プレイヤーで再生可能}
とライブ CD とライブと同じ曲のスタジオ録音音源の CD の 3 枚組。
各 3 枚とも 17 曲収録で、曲順も同じ。ロック・バンドを従えてロッ
クするイアン・マシューズのロックのノリノリなこと！バンドの
ロックはタイトなロックで、イアン・マシューズのヴォーカルも
終始テンションが高い。まだ見ぬピークを目指した時代の上り調
子の青春ロック。Neil Young の "Mr. Soul" なんか滅茶苦茶かっこ
いい。DVD を見た後ライブ盤とスタジオ録音盤とを聴き比べるの
も楽しい。1983 年/2016 作。MIG)

*IAIN MATTHEWS: Intimate Wash D
("The Notebook Series No. 3"。1993 作。Perfect Pitch)

*PLAINSONG: On Air C
(副題 "The Original & Unreleased BBC Session Recordings"。
1972 年の BBC ライヴ。1992 作。Band Of Joy)

*PLAINSONG: Dark Side Of The Room (97 作。Line) B

*STORYTELLER: More Pages C
(1971 年に Transatlantic よりリリースされたブリティッシュ・フォ
ーク・グループの Storyteller の二枚目でラスト・アルバム "More
Pages" が。時代まっただ中の音楽ですね。Fairport や Mellow
Candle や Trees などの音楽の流れで語られることの多い彼らの音
楽だが、ぼくの耳には Incredible Strings Band や後の Merry
Band の音楽性に近いように聞こえる。男女のヴォーカルだが、詩
人として著名な Terry Durham のヴォーカルは Robin Williamson
の資質に近いし、演劇的な音楽性も近い。翌年 Phillip Goodhand-
Tait の "Songfall" にも参加する Caroline Attard 嬢の透明感ある
ヴォーカルもこの時代のブリティッシュ・フォークを象徴するガ
ラス細工のような？ヴォーカルで魅力いっぱい。1971 年/2017 作。
紙ヅャケ。韓国 Big Pink)。

- *ALLAN TAYLOR:Behind The Mix C
 (2000年作“Colour To The Moon”の限定ボックス版〔廃盤〕のボーナスCD“Behind The Mix”がCD再発された。録音は2000年。前半の数曲がAllan Taylorのソロで、残りがAllan Taylor&Derroll Adamsのデュオ曲という構成。一曲目の“Nadine”のみ、A. Taylorにしては珍しくロックっぽい曲で、二曲目からはいつものリラックス・ムードのA. Taylorの唄と仲の良いA. Taylor&D. Adamsの唄と思い出話が続く。全体的な印象は、“Colour To The Moon”収録直前に亡くなったDerroll Adams〔1925-2000〕の追悼盤の印象。気心を知った二人の息の合った演唱に驚かされ、心和む。全15トラック。P22のブックレットでは思い出の写真も拝める。2000年/2017作。Stockfish)
- *NICHOLAS RODNEY DRAKE:Time Has Told Me Volume Two ¥2800
 (Nick Drakeのカセットテープ録音等1967年1曲、1968年6曲、1968年9曲、1974年1曲の全17トラック。2006作。Schoolkids)
- *RALPH McTELL:A Collection Of His Love Songs ¥2800
 (全23曲。1989作。Castle)
- *TONY ROSE:Under The Greenwood Tree D
 (CD-R盤。検品済。イングランドのトラッドの名盤!! 1971/2004作。Leader)
- *TIR NA NOG:Tír na nóg(1971年/1992作。BGO) B
- *TIR NA NOG:Spotlight B
 (副題“BBC Recording 1972-1973。2001作。Hux)
- *CAROL GRIMES:Warm Blood C
 (Grease Bandっぽい南部ロック・サウンドの一曲目でぶっ飛んだ英国の女性シンガーのCarol Grimesの1974年作。米国ナッシュビルと英国ロンドンで録音された本作は、一曲一曲趣向の異なる大風呂敷な南部ロック〜スワンプ風の女性SSWアルバムといった印象で、泥臭いロックの中、Carolは一曲一曲をシャウトする。同じ1974年に“Insane Asylum”というスワンプ系アルバムでソロ・デビューしたKathi McDonaldを思い出した。w. Ron Cornelius, Kenny Buttrey, Tommy Cogbill, Mac Gayden, Karl Himmel, Jess Roden, Graham Bell 他。Produced by Bob Potter。1974年/2017作。紙ジャケ。韓国 Big Pink)
- *BERT JANSCH:Living In The Shadow ¥6550
 (“The Ornament Tree”〔1990年〕, “When The Circus Comes To Town”〔1995年〕, “Toy Balloon”〔1998年〕に、Bert Janschの個人的なテープから未発表音源からの曲14曲を収録した“Picking Up The Leaves”の四枚組〔すべてリマスター〕。John Renbournとの共演曲二曲〔笑い声も〕を含む“Picking Up The Leaves”は、何とも懐かしいというか、Bert Janschが最も輝いていた頃の音楽ばかりで、Bert Janschスタイルのブリティッシュ・フォークに酔ってしまう。どれもが感涙。ハードカバーCDブック型の豪華な装丁で解説はColin Harper。2016作。Earth)
- *BARBARA DICKSON
 :From The Beggars Mantle...Fringed With Gold A

(1970年/2002作。CD-R版。レコード会社自家製でジャケット品質二流。Phonograph)

- *BOB PEGG & CAROLE PEGG:He Came From The Mountain C
(Mr FoxのBob & Carole PeggがMr Foxとは別に71年に発表したブリティッシュ・フォークの名盤。Bob Peggの英国調の品のある節回しが特徴的なヴォーカルとCarole Peggの花のつぼみのような清々しいヴォーカルのバランスというか妙というか綾がが素晴らしい。Produced by Bill Leader。Mike Lavelle, Nick Strutt, Barry Lyons, Pete Wagstaff, etc. 1971年/2016作。紙ジャケット。韓国Big Pink))
- *PHILLIP GOODHAND-TAIT & THE STORMSVILLE SHAKERS
:Ricky-Tick... 40 Years On C
(Phillip Goodhand-Tait & the Stormsville Shakers'時代[1965-1966]の10曲。2005作。Span TV)
- *GOTHIC HORIZON:The Jason Lodge Poetry Book C
(Andy Desmond&Richard Garrettのデュオ、Gothic Horizonの71年作。夢心地な美しきブリティッシュ・フォーク。田園志向というか、自然が身近で水清く心清い清々しい音楽。2002再発。Hugo-Montes)
- *JACK THE LAD:The Old Straight Track(1974/2005作。EMI) D
- *MICK SOFTLY:Songs For Swingin' Survivors B
(M. Softlyの65年作の枚目。65/2003作。Hux)
- *GAY & TERRY WOODS:Backwoods A
(Gay&Terryの1975年の一枚目。1975年/2002作。Hugo-Montes)
- *JAKE WALTON:Songs From The Gurdy-man C
(Jake Walton&Jez Loweの"Two A Roue"{1986年}から6トラックとJake Waltonの"Sunlight And Shade"{1982年}から8トラックの計14トラック収録の編集盤。Wundertute)
- *RAB NOAKES:Red Pump Special 40th Anniversary Edition B
(70年代SSWの名盤"Red Pump Special"が本人のレベルから四曲のボーナストラック付きの全14曲、デジタル・リマスターにて発売。プロデューサーのElliot Mazerは「LindisfarneとRab Noakesのライブを観に行った。驚嘆すべき、独特なマイナーの曲を書き、歌詞がとっても面白かった」とこの記念盤のブックレットの思い出話の中で述べている。Tommy Cogbill, Kenneth Buttrey, Weldon Myrick, Teddy Irwin, John Harris等のナッシュビル生え抜きのスタメンに加えて、Memphis Hornsも参加して制作された本作が悪かろう筈がない。ボーナス曲四曲は一曲はリンディスファーンっぽくて、一曲は飄々。残りの二曲は別テイク版。実際飄々とも聞こえる。1973/2013作。Neon)
- *FAMOUS JUG BAND:O For Summer B
(2000年録音のFamus Jug Band再結成盤。全16曲。2001作。Market Square)
- *LINDIFARNE:Buried Treasures Vol.3 B
(副題"Rare and unreleased 1969-2000。全17曲。2000作。Siren Music)
- *ERIC CLAPTON:461 Ocean Boulevard (1974年。Polygram)¥1000
- *YOUNG TRADITION:Oberlin 1968 A

(Young Tradition{Peter Bellamy, Royston Wood, Heather Wood}の1968年11月17日、米国のOberlin Collegeで行われたライブ。イングランドのトラッド・ファンなら冷静には聴けない見事なアカペラによるトラッド・シンキング・アルバム。三人のシンキングは極めてストイック。そのストイックさが音楽的にイングランド的気品を生み、伝統歌の質をピュアに高めている。Peter Bellamyのシンキングのみならず、RoystonもHeatherもオーラを放つほどに見事なシンキングを高く貫いている。滅茶苦茶素晴らしい。アカペラによるイングランドのトラッド・シンキングの原点であり、一つの理想型。全25曲。1968/2013作。Fledg'ling)

*MANDY MORTON BAND:Valley Of Light D

(Mandy Morton&SprigunsのMandy MortonのMandy Morton Bandの唯一のアルバム。1983年作。バンド・メンバーはSimon Wheeler Hunt, Sean Boucousis, Dominic Green, Gaynor Griffith, David Griffith。独自のブリティッシュ・フォークの世界を創作しようという意欲が表出したブリティッシュ・フォーク。1983/1995作。English Garden)

*TOM YATES:Love Comes Well Armed A

(Tom Yates{1944-1993}はDavid Bowieとロンドンで一緒に、Paul Simonの紹介でアルバムデビューをしたという。本作は1973年にPresidentというレーベルから発売されたTom Yatesの二枚目。B. J. ColeやDuncan Browneがバックを務めていて、一種独特な浮遊感のある世界はJohn Martynの世界にも通じるが、T. Yatesの方がフォークっぽい。1973/2013作。Epona)

*SHIRLEY & DOLLY COLLINS:For As Many Will ¥2666

(Shirley&Dollyの1978年作。クリンク・レコードより国内盤発売。解説:船津潔。解説は、「シャーリー&ドリー・コリンズの歩み」、「『フォー・アズ・メニー・アズ・ウィル』はシャーリー&ドリーの終着点」そして「曲目について」という構成。78/2012年。クリソカ)

*MARY JANE:Tacit B

(70年代ブリティッシュ・フォークの麗しさを追い求めるMary Janeの3枚目はライブ・セッション。Fairport, Steeleye, Trader Horn, Treesのライブ・アーが好みの方は必聴。“Matty Globes”そっくりな“Lady Margaret”, “She Moved thro’ the Fair”, “Blackwaterside”ほか全13曲。2000作。Seventh Wave)

*IAN A ANDERSON:Time Is Ripe a

(Village Thingレコード40周年を記念して発売された現fRoots誌編集長でVillage Thingの創設者のIanのVillage Thing時代の70年、71年、72年作の三枚から17曲と未発表音源からの3曲の20曲収録編集CD。Wizz Jonesの諸作に匹敵する70年代ブリティッシュ・フォーク/ギター・ファンは必聴の名作。w. Hunt&Turner, Mike Cooper, Maggie Holland, etc. 2010作。Weekend Beatnik)

*THE INCREDIBLE STRING BAND:Their First Album B

(Robin Williamson&Mike HeronによるISBの67年作。デジパック{紙ジャケット}。67/2010作。Fledg'ling)

*JULIE FELIX:Cloth's Web B

(1972年作に6曲のボーナス曲入りの全18曲。99作。Red Fox)

- *ROBIN WILLIAMSON & HIS MERRY BAND: Journey's Edge B
 (1975年録音の未発表音源10トラックを加えた計21トラックで再発。Merry Bandは1975年にRobinが憧れのアメリカの町で結成したバンドでメンバーはSylvia Woods{ハープ、ハープシコード、ヴォーカル}、Chris Caswell{ハープ、フルート、アコ、ヴォーカル}、Jerry McMillan{フィドル、ヴォーカル}。数多くのRobinの諸作の中で最もケルティックで初々しい。2008作。Fledg'ling)
- *TUDOR LODGE: Tudor Lodge B
 (Digipak{紙ジャケット仕様。71/2007作。Repertoire)
- *FORMARY FAT HARRY: Goodbye For Good B
 (副題"The Lost Recordings 1969-72"。Country Joe&The Fishのベース奏者だったBruce Bartholがカリフォルニアから二人の友人を呼び寄せイギリスで結成したブリティッシュ・フォーク・ロック・バンドの未発表音源集。全12トラック。P16のブックレット付。2008作。Hux)
- *VASHTI BUNYAN: Some Things Just Stick In Your Mind C
 (ハードカバー特製見開き紙ジャケットで全25トラック収録の2枚組。副題"Singles and Demos 1964-1967"。1964年から67年収録のシングル盤音源4トラックとシングル盤未発表音源3トラックと多数の未発表テープ音源等からの編集盤。P24のブックレット付。2007作。Fatcat)
- *RALPH McTELL: The Definitive Collection ¥1880
 (R. McTellのシングル盤音源の"Street Of London"を含む16トラック収録の編集CD。2007作。Highpoint)
- *ROBIN WILLIAMSON: The Island Of The Strong Door ¥1050
 (95作。Pig's Whisker Music)
- *DAYLIGHT: Daylight A
 (Mike SilverとChrissie Quayleがリード・ヴォーカルのブリティッシュ・フォークグループ。これほど鮮度の高いフォーク・ロック・バンドは英国にも米国にも見付けるのが難しい。Produced by Tony Cox。71作。Hugo-Montes)
- *MCGUINNESS FLINT: The Original B
 (原題"McGuinness Flint"。デビュー作。1970作。EMI)
- *LYLE MCGUINNESS BAND: Elise, Elise (1997作。Diamond) C
- *MARIE LITTLE: Factory Girl B
 (71年Argoから発売されたM. Littleのデビュー作。{LPの場合は}A面に収録の6曲がトラッド調でB面に収録の6曲がフォーク〜ブルース調。70年代初期のブリティッシュ・トラッドの芳香香る名盤。w. Robin&Barry Dransfield, Smiley, Dave Moses, Bill le Page。71/2007作。Smartweed)
- *PENTANGLING "The Collection" D
 (Pentangle{17曲}、John Renbourn{22曲}、Bert Jansch{22曲}の計61曲入3枚組セット。2004作。Sanctuary)
- *PENTANGLE: Cruel Sister a
 (リマスター。70/2001作。Sanctuary)
- *PENTANGLE: Think Of Tomorrow (91作。トイツHypertention) B
- *JOHN RENBOURN: Ship Of Fools B
 (J. R., Maggie Boyle, Steve Tilston, Tony Robertsの実質的J. Renbourn Groupの88年作。88/2005作。Sanctuary)
- *JOHN RENBOURN: John Renbourn a
 (65年のデビュー作。未発表曲3曲入りリマスター。詳細解説)

- 付。2001 作。Sanctuary)
- *JOHN RENBOURN:Black Balloon(79/2005 作。Sanctuary) a
 - *JOHN RENBOURN GROUP:Enchanted Garden a
(80/2005 作。Sanctuary)
 - *JOHN RENBOURN:The Nine Maidens(85/2005 作。Sanctuary) a
 - *PETER KIRTLEY:Peter Kirtley B
(元 Pentangle のギター&ヴォーカルの P. Kirtley の 92 年の功。w. Bert Jansch, Liam Genockey, Kenny Cradock, Sally Barker, etc. フォークやジャズの要素もあるカリブなフォーク・ロック。92 作。トイ Hypertension)
 - *PEOPLE ON THE HIGHWAY "A Bert Jansch Encomium" A
(B. Janschトリビュート盤 2 枚組。Polly Bolton, Maggie Boyle, Donovan, Martin Jenkins, Wizz Jones, Eleanor McEvoy, Ralph McTell, Rab Noakes, Kelly Joe Phelps, Chris Smither, Al Stewart, Steve Tilston, Brooks Williams and more! 全 26 曲。2000 作。Market Square)
 - *BERT JANSCH:Birthday Blues A
(2 曲ボーナス付。詳細解説付。69/2001 作。Sanctuary)
 - *BERT JANSCH:Moonshine(73 作。Sanctuary) a
 - *BERT JANSCH:The Ornament Tree(90 作。Sanctuary) a
 - *BERT JANSCH:From The Outside a
(紛失曲 "I Sure Wanna Know" を収録し、新たに CD 再発。93/2001 作。Sanctuary)
 - *BERT JANSCH:Live At The 12 Bar(96 作。Sanctuary) a
 - *BERT JANSCH:Downunder a
(ギターも冴えて Bertらしいギターの弾き語り中心のライブ。全 15 曲。98 年録音。2001 作。Castle Music)
 - *BERT JANSCH:Crimson Moon(2000 作。Sanctuary) a
 - *BERT JANSCH:The River Sessions B
(74 年 11 月グラスゴーの City Hall でのライブ。74/2004 作。River)
 - *BERT JANSCH:Dazzling Stranger a
(アンソロジー -20 曲入編集 2 枚組。2000 作。Sanctuary)
 - *HENRY McCULLOUGH:Cut B
(1978~83 年の未発表音源集。全 15トラック。87 作。Line)
 - *IAN GOMM:Rock'n'Roll Heart(2001 作。Gommsongs) A
 - *CHAS&DAVE:From Tottenham To Tennessee A
(Chas&Dave と Joe Bangles が選曲した 79 年から 91 年の音源からの 39 曲収録の 2 枚組。Chas&Dave 独特な二流のセンスが随所に散りばめられた最高のパブ・ロック。これ一枚で彼等のアブラの乗った時代の音楽はたっぷり楽しめる。2006 作。Music Club)
 - *CHAS' N' DAVE:Street Party a
(ノンストップ! パブ・ロック・オンパレードの 50 曲入。2003 作。Pickwick)
 - *DONOVAN:Greatest Hits Live B
(1986 年、バンクーバーでのライブ+ボーナス曲 3 曲+未発表音源曲 1 曲の計 18 曲。2001 作。Varese Sarabande)
 - *SALLY'S FRIENDS:Boys Of The Town B
(アイリッシュ系フォーク・デュオの Sally's Friend~Chris Ward

{ヴォーカル、ギター}と Pete Onions {ヴォーカル、マンドリン、ギター}の 79 年作。
Chris & Pete のシンギングは 70 年代ブリティッシュ・フォークの
香りが高く、きりっとして温か。Kissing Spell)

- *STONE ANGEL: East Of The Sun B
(ブリティッシュ・フォーク・ロックの名盤。2001 作。Kissing Spell)
- *STONE ANGEL: Lonely Waters B
(ブリティッシュ・フォーク・ロックの名盤。2004 作。Kissing Spell)
- *JAN DUKES DE GREY: Mice And Rats In The Loft A
(Jan Dukes の 71 作。71/2004 作。Breathless)
- *DAVE WAITE & MARIANNE SEGAL: Paper Flowers C
(伝説のフォーク・ロック・バンド Jade の Dave & Marianne が Jade 結成
前にデュオで活動していた時代の 1967~70 年の未発表曲集。全 22
曲。P12 のブックレット付。2004 作。Lightning Tree)
- *CAT STEVENS: Matthew & Son a
(CD では未発表のボーナス曲 8 曲付の計 22 曲入。67/2003 作。Deram)
- *CAT STEVENS: Tea For The Tillerman a
(“Wild World”, “Father And Sun”を含む全 11 曲。70 作。Universal
Island)
- *JEFF BECK: Blow By Blow/Wired (2 CD セット。Sony) C
- *KILBURN AND THE HIGH-ROADS: Handsome A
(ご存知 Ian Dury が在籍したパブ・ロック・バンドの 75 年作が 3 曲の未発
表音源ボーナス曲入りで CD 復刻。全 18 曲。諧謔的センスと職人ワザ的ロック・
ロール魂と魔法仕掛けのセンスのあるロックは「パブ・ロック」の範疇を飛び出
している。これは大衆娯楽ロックだ。Chas & Dave も真っ青。75/99/2004
作。Dawn/Castle)
- *FOOTPRINTS IN THE SNOW A
(副題 “An Anthology Of The British Singer-Songwriter Genre
1965-1974”。44 曲収録 2 枚組。Donovan, Bert Jansch, Owen Hand,
Billy Nicholls, Ralph McTell, Billy Connolly, Alan Hull,
Shelagh McDonald, Gerry Rafferty, Steve Tilston, Richard
Digance, Dave Cartwright, Alan Price and more。2004 作。
Sanctuary)
- *TREES: The Garden Of Jane Delawney A
(70 年代ブリティッシュ・フォークの名盤。70 作。Rewind/Columbia)
- *AL STEWART: Orange (72 作。ミレニアム特別仕様。Columbia) A
- *FROGMORTON: At Last D
(幻のアルバム CD 復刻。Frogmorton は Young Tradition からの影響大
の紅一点の Lucy Sharpe を含む 7 人組トラッド・グループ。Young
Tradition 風ヴォーカル・ハーモニーを核に青春フォークから Lindisfarne 的庶
民フォーク・ロック的なものまで幅広い「フォーク」を展開する。76 作。2002 再発。
Elegy)
- *CHRIS THOMPSON: Chris Thompson B
(73 年作が 3 曲のボーナス付で、CD 復刻。ニュー・ラント 人だがここで。理
想のギター弾き語りの 70 年代ブリティッシュ・フォーク。2001 作。Scenescof)
- *MICK GREENWOOD: Midnight Dreamer A
(74 年の 3 枚目。w. Pat Donaldson, Gerry Conway, William a

Murray, Barry de Souza. Voiceprint)

*DULCIMER:When A Child

G

(純真無垢で英国趣味な最良の 70 年代ブリティッシュ・フォークの芳香いっぱい
の Peter Hodge&David Eaves の Dulcimer の 93 年作。夢見気分保証。不老の
Dulcimer。ブリティッシュ・フォーク・ファンの宝物。93 作。President)

*SYNANTHESIA:Synanthesia

D

(Dennis Homes, Jimmy Fraser, Leslie Cook の三人組ブリティッシュ・
フォーク・グループ。アコースティック・ギターやフルートやオーボエや
ヴィブラフォンの浮遊感のある不思議なサウンド、そして夢見心地な
ヴォーカル。Donovan っぽさを感じる September Production 産ブリ
ティッシュ・フォークの名盤。1969 作。1990 年再発。Elegy)